

九十九里町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令を次のように定める。

令和8年4月8日

九十九里町教育委員会教育長 鈴木 弘



九十九里町教育委員会訓令第3号

九十九里町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令

九十九里町立学校職員服務規程（昭和39年九十九里町教育委員会訓令第1号）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中「押印しなければ」を「出勤した旨を記載しなければ」に改める。

第7条第1項中「の確認印を押さなければ」を「を記載しなければ」に改める。

第8条第1項中「の確認印を押さなければ」を「を記載しなければ」に改める。

第10条の8に次の2項を加える。

- 4 職員は、あらかじめ承認を受けていた期間が満了する場合は、配偶者同行休業期間満了届（別記第10号様式の26）により校長へその旨を届け出なければならない。
- 5 前各項に規定する書類の提出があったときは、校長は、速やかに教育委員会を經由して任命権者に提出しなければならない。

別記第2号様式を次のように改める。

別記第3号様式の2から別記第18号様式までを次のように改める。

附 則

(施行期日等)

- 1 この訓令は、公布の日から施行し、この訓令による改正後の九十九里町立学校職員服務規程の規定は、令和8年4月1日から適用する。

(経過措置)

- 2 この訓令の施行の際現に提出されているこの訓令による改正前の様式（次項において「旧様式」という。）により使用されている書類は、この訓令による改正後の様式によるものとみなす。
- 3 この訓令の施行の際現にある旧様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

第2号様式（第7条関係）

時 間 外 勤 務 等 命 令 簿					所属					職名・氏名			
命令権者	直接監督者	勤務者	勤 務 日		時間外勤務・休日勤務						夜 間 勤 務	宿 日 直 勤 務	備 考
					種 別	勤務の内容	勤務命令時間	勤務した時間数					
								深夜 以 外 時間 分	深 夜 時間 分				
			月	日									
				曜日				: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			
								: ~ :	:	:			

- 注
- 1 「種別」欄には、勤務日が週休日である場合は「週」と、休日である場合は「休」と記入し、その他の場合は空欄とすること。
 - 2 「勤務した時間数」欄の「深夜」とは、午後10時から翌日の午前5時までの間をいうこと。
 - 3 「勤務した時間数」欄は、当該勤務命令に係る勤務を終了した後に、勤務者が記入すること。なお、勤務した時間数が勤務命令と異なる場合は、勤務した時間数は、記入せず、「備考」欄に「変更」と記入するとともに、次の段にあらためて、勤務日、勤務命令時間及び勤務した時間数を記入し、直接監督者の承認を得た上で、命令権者の承認を得ること。
 - 4 「夜間勤務」欄又は「宿日直勤務」欄については、当該勤務を行った場合に、勤務者が該当欄に○印を記入すること。

深夜勤務制限請求書

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属
職氏名

下記のとおり ☐ 養育 ☐ 看護 のため、深夜勤務の制限を請求します。

記

1 請求に係る子又は要看護者	氏 名		
	続 柄		
	生 年 月 日	年 月 日生	☐ 出産予定日
	養子縁組の効力が生じた日	年 月 日	
2 職員の配偶者で当該子の親であるものの有無及び状況	☐ 有 ☐ 深夜において就業している ☐ 負傷、疾病又は身体上若しくは精神上の障害により養育又は看護が困難である ☐ 産前8週間(多胎妊娠の場合にあっては、14週間)又は産後8週以内である ☐ 上記のいずれにも該当しない(養育又は看護ができる) ☐ 無		
3 要看護者の状態及び具体的な看護の内容			
4 請求に係る期間	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他()	

- 注
- 1 該当する□にはレ印を記入すること。
 - 2 「続柄」欄は、請求に係る子又は要看護者の請求者との続柄等（請求に係る子が勤務時間規定第4条第3項第1号に規定する特別養子縁組の成立前の監護対象者等に該当する場合にあっては、その事実）を記入すること。
 - 3 「生年月日」欄は、子を養育するために請求する場合のみ記入すること。なお、請求に係る子が請求の際に出生していない場合には、「生年月日」欄に出産予定日を記入し、□出産予定日にレ印を記入すること。
 - 4 「養子縁組の効力が生じた日」欄は、子を養育するために請求する場合のみ記入すること。
 - 5 「職員の配偶者で当該子の親であるものの有無及び状況」欄は、子を養育するために請求する場合のみ記入すること。なお、「就業している」とは、就業日数が1月に3日を超えることをいう。
 - 6 「要看護者の状態及び具体的な看護の内容」欄は、要看護者を看護するために請求する場合のみ記入すること。
 - 7 「請求に係る期間」欄は、子を養育するため深夜勤務の制限を請求する場合には、当該請求に係る子が満6歳に達する日以後の最初の3月31日以前の日を制限終了日として請求すること。

第3号様式の3（第7条の2関係）

育児又は看護の状況変更届

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属

職氏名

下記のとおり深夜勤務の制限に係る子の養育又は要看護者の看護の状況について変更が生じたので届け出ます。

記

1 届出の事由

(1) 養育の状況の変更

☐ 子が死亡した

☐ 職員の子でなくなった

(☐ 離婚 ☐ 養子縁組の取消し ☐ 家事審判事件の終了

☐ 児童福祉法第27条第1項第3号の規定による措置の解除)

☐ 同居しなくなった

☐ 職員の配偶者で子の親である者が養育できるものに該当することとなった

☐ 上記以外の事由により請求できる職員に該当しなくなった

(理由：)

(2) 看護状況の変化

☐ 要看護者が死亡した

☐ 要看護者と職員との親族関係が消滅した

(消滅の理由：)

☐ 同居しなくなった

2 届出の事実が発生した日

年 月 日

注 該当する□にはレ印を記入すること。

第5号様式（第8条関係）

復 命 書

年 月 日

九十九里町立〇〇〇学校長 様

職氏名

私は命により旅行したところ、その概要は次のとおりでした。
以上復命します。

- 1 用 務
- 2 旅行先
- 3 旅行期間（又は期日）
- 4 概 要

第6号様式（第9条関係）

研 修 承 認 簿

職
氏名

[illegible]

第6号様式の2（第9条関係）

研修計画書

年 月 日

職氏名

研修日時(時間)		研 修 の 具 体 的 内 容	
月	日()	教科等()	
時	分から		
時	分まで		
(時間)		研修場所(連絡先)	
月	日()	教科等()	
時	分から		
時	分まで		
(時間)		研修場所(連絡先)	
月	日()	教科等()	
時	分から		
時	分まで		
(時間)		研修場所(連絡先)	
月	日()	教科等()	
時	分から		
時	分まで		
(時間)		研修場所(連絡先)	

研 修 報 告 書

年 月 日

職氏名

研修日時(時間)	研 修 の 具 体 的 内 容		
月 日 () 時 分から 時 分まで (時間)			
研 修 場 所			
月 日 () 時 分から 時 分まで (時間)			
研 修 場 所			
月 日 () 時 分から 時 分まで (時間)			
研 修 場 所			

校長	
----	--

校長	
----	--

校長	
----	--

第7号様式（第10条関係）

服 務 整 理 簿

年次休暇前年度繰越日時数（ 日 時間 分）

職
氏 名

決 裁	届 出 月 日	届 出 事 項				取扱者
		月 日	日・時・分	休暇等の 種別	理 由	
			日 計 累 計			
			日・時間・分			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
			・ ・			
年 合 計	年 次 休 暇		療 養 休 暇	特 別 休 暇	無 給 の 休 暇	
	日 時間 分		日 時間 分	日 時間 分	日 時間 分	

注 理由欄には、年次休暇の場合は記入を要しないものとする。

第7号様式の2（第10条関係）

ボランティア活動計画書

年 月 日

所 属		
氏 名		
活 動 期 間	年 月 日から 年 月 日まで	
活 動 の 種 類	☐ 被災者への支援活動 ☐ 社会福祉施設等における活動 ☐ その他	
活 動 場 所	施 設 名 等	
	所 在 地	
	電 話 番 号	()
具体的な活動内容		
支援する相手の状態		
仲介団体等の有無及び団体名	☐ 有 ☐ 無	
	団 体 名	
	電 話 番 号	()
備 考		

注

- 1 該当する□にはレ印を記入すること。
- 2 「活動場所」欄及び「具体的な活動内容」欄については、当該活動が仲介団体等(社会福祉協議会等主として活動の仲介を行う団体のほか、自ら当該活動の主体となって活動を行う団体を含む。)を通じたものであり当該仲介団体等による証明が得られる場合には、適宜記入を省略して差し支えないこと。
- 3 「活動場所」欄は、活動場所が支援する相手の居宅である場合には、その者の氏名及び住所等を記入すること。

第8号様式（第10条関係）

休 暇 申 請 書

年 月 日

九十九里町教育委員会教育長 様

所 属
職氏名

下記のとおり、 休暇を取得したいので、申請します。

記

1 理 由（年次休暇の場合は、記載不要とする。）

2 期間又は期日

第9号様式（第10条関係）

療 養 休 暇 承 認 申 請 書

年 月 日

九十九里町立〇〇〇学校長 様

所 属

職氏名

下記のとおり療養休暇を取得したいので、医師の診断書を添えて申請します。

記

1 事 由

2 期 間

第9号様式の2（第10条関係）

結核療養休暇承認申請書

年 月 日

九十九里町教育委員会教育長 様

所 属
職氏名

下記のとおり結核療養のため休暇を取得したいので、承認くださるよう診断書を添えて申請します。

記

1 病 名

2 期 間

3 療養の場所

第9号様式の3（第10条関係）

出 産 休 暇 届

年 月 日

九十九里町教育委員会教育長 様

所 属

職氏名

職員の勤務時間、休暇等に関する規則第12条第12号に掲げる事由に該当することとなったので、医師の診断書を添えて下記のとおり届け出ます。

記

1 出産(予定)日

2 特別休暇の期間

第10号様式（第10条関係）

看 護 休 暇 承 認 申 請 書

年 月 日

九十九里町立〇〇〇学校長 様

所属
職氏名

私は、職員の勤務時間、休暇等に関する規則第15条の規定による看護休暇の承認を受けたいので下記のとおり申請します。

記

要 看 護 者 の 状 態 等	氏 名		生 年 月 日	・ ・ (歳)
	続 柄			
	疾 病 名 等			
	治 療 状 況			
	看 護 の 必 要 性			
承認を受けようとする理由				
承認を受けようとする期間		年 月 日から 年 月 日までの 日間		
態 様		☐ 1日を単位とするもの ☐ 30分を単位とし、1日を通じて4時間を限度とするもの ☐ 上記の態様を併用するもの		
当該要看護者の看護を必要とする一の継続する状態における申請回数		回 目	当該要看護者の看護のために取得した看護休暇の通算期間	日 間

注

- 1 「看護の必要性」欄には、要看護者の症状及び日常生活への支障の程度について記載すること。
- 2 「承認を受けようとする理由」欄は、承認を受けようとする期間及び態様についての理由を記載すること。なお、当該要看護者の看護を必要とする一の継続する状態において再度の申請となる場合にはその理由も記載すること。
- 3 「態様」欄の該当する□にはレ印を記入すること。

看 護 休 暇 承 認 （ 申 請 ） 期 間 表

申 請 の 期 間								申 請 を 取 り 下 げ る 日 及 び 時 間									
申請 日	承認 日＊	月 日		態 様		時 間		承認者 ＊	日・時間 数＊	申請 日	承認 日＊	月 日		時 間		承認者 ＊	日・時間数 ＊
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
／	／	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	☐ 1日単位 ☐ 30分単位	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分					／	／	年 月 日から 年 月 日まで	時 分～ 時 分 時 分～ 時 分		日 時間		
						合計(A)	日 時間						合計(B)	日 時間			

注1 「申請の期間」の欄は、当初の申請の場合及び承認申請期間内において新たに休暇を取得しようとする場合に、申請者が記入すること。

2 「申請を取り下げる日及び時間」の欄は、承認申請期間内において休暇を取り下げる場合に、申請者が記入すること。

3 「＊」の欄は、校長が記入すること。

所 属		職 名	
氏 名		申 請 回 数	回 目
承認申請期間		年 月 日から 年 月 日まで 日間	

申請を取り下げた場合の看護休暇の日数及び時間数	
A－B＊	日 時間

第10号様式の2の2（第10条関係）

（表）

子育て部分休暇承認請求書 年 月 日 九十九里町教育委員会 様 所 属 職氏名 (職員コード) 私は、下記により子育て部分休暇の承認を請求します。					
1 請求に係 る子	氏 名				
	続 柄 等				
	生 年 月 日		年 月 日生		
2 請求期間 及び時間	年 月 日から 年 月 日まで		☐ 毎日 ☐ その他 ()	午前 時 分～ 時 分 午後 時 分～ 時 分	
	年 月 日から 年 月 日まで		☐ 毎日 ☐ その他 ()	午前 時 分～ 時 分 午後 時 分～ 時 分	
3 備 考					

注

- この請求書には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄等及び生年月日を証明する書類（医師又は助産師が発行する出生（産）証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書等）を添付すること（写しでも可）。
- 子育て部分休暇の承認が、職員からの請求に基づき取り消された場合は、その旨を裏面に記入すること。
- 該当する□には✓印を記入すること。

(裏)

氏 名

職員コード

[illegible]

第10号様式の2の3（第10条関係）

養育状況変更届

年 月 日

様

所 属

職氏名

次のとおり 子育て部分休業
育児休業
育児短時間勤務
部分休業

に係る子の養育状況について変更が生じたので届け出ます。

1 届出の事由

- ☐ 育児休業等に係る子を養育しなくなった。
- ☐ 同居しなくなった。 ☐ 負傷・疾病。 ☐ 託児できるようになった。
- ☐ その他（ ）
- ☐ 育児休業等に係る子が死亡した。
- ☐ 育児休業等に係る子と離縁した。
- ☐ 育児休業等に係る子との養子縁組が取り消された。
- ☐ 育児休業等に係る子との親族関係が特別養子縁組により終了した。
- ☐ 育児休業等に係る子についての民法第817条の2第1項の規定による請求に係る家事審判事件が終了した。
- ☐ 育児休業等に係る子との養子縁組が成立しないまま児童福祉法第27条第1項第3号の規定による措置が削除された。
- ☐ その他（ ）

2 届出の事由が発生した日

年 月 日

注 該当する□には✓印を記入すること。

(裏)

氏 名

職員コード

[illegible]

九十九里町立〇〇〇学校長

このことについて、職員の勤務時間、休暇等に関する条例第 15 条の 2 により子育て部分休暇承認請求書の提出がありましたが、下記の事項を確認し副申します。

該 当 職 員	所 属				職 名			
	氏 名				年 齢			
請求に係る子	氏 名		続 柄		生年月 日	年 月 日生		
請 求 期 間	年 月 日から 年 月 日まで							
請 求 時 間	☐ 毎日 ☐ その他（ ）							
託児の態様	☐ 託児施設 （託児時間： 時 分～ 時 分） ☐ その他（ ） （託児時間： 時 分～ 時 分）							
通 勤 時 間	時間 分（託児先を経由する時間を含む）							
そ の 他	（請求者以外の当該子の親が子育て部分休暇その他の育児のための短時間勤務の制度の適用を受けている場合及び託児の態様、通勤の状況以外に子育て部分休暇を必要とする事情がある場合には、その内容を記入すること。）							

(注) 該当する□には✓印を記入

九十九里町立〇〇学校長

このことについて、養育状況変更届の提出がありましたので、下記の事項を確認し副申します。

該 当 職 員	所 属					
	職・氏名					
請求に係る子	氏 名		続柄		生年月日	年 月 日生
請 求 期 間	☐ 休暇に係る子を養育しなくなった ☐ 同居しなくなった ☐ 負傷・疾病 ☐ その他（					

(注) 該当する□には✓印を記入

第10号様式の4（第10条の2関係）

専 従 許 可 願

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属

職氏名

下記のとおり、職員団体の業務に専従したいので、許可くださるようお願いします。

記

- 1 職員団体の名称
- 2 職員団体における役職名
- 3 職員団体の業務にもっぱら従事する期間

育児休業（育児休業延長）承認請求書		
		年 月 日
千葉県教育委員会 様		
		所 属
		職氏名
		（職員コード ）
私は、下記により 育 児 休 業 の 承 認 を請求します。 育児休業の期間の延長		
1 請求に係る子	氏 名	
	続 柄 等	
	生 年 月 日	年 月 日生
2 請求の内容	☐ 育児休業の承認（次に掲げる育児休業の承認を除く。） ☐ 同一の子に係る３回目以後の育児休業の承認（既に２回の育児休業（地方公務員の育児休業等に関する法律第２条第１項各号に掲げる育児休業を除く。）をした場合のものに限る。以下同じ。） ☐ 育児休業の期間の最初の延長 ☐ 育児休業の期間の再度の延長 ※同一の子に係る３回目以後の育児休業の承認、育児休業の期間の再度の延長が必要な事情を記入 （ ）	
3 請求期間	年 月 日から 年 月 日まで	
4 既に育児休業をした期間	年 月 日から 年 月 日まで	
	年 月 日から 年 月 日まで	
	年 月 日から 年 月 日まで	
	年 月 日から 年 月 日まで	
5 備考		

- 1 この請求書（育児休業の期間の延長に係るものを除く。）には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄等及び生年月日を証明する書類（医師又は助産師が発行する出生（産）証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書等）を添付すること（写しでも可）。
- 2 請求に係る子の出生前に請求する場合は、「3 請求期間」欄には出産予定日以降の期間を記入し、「1 請求に係る子」欄の記入及び証明書類の添付は、出生後速やかに行うこと。
- 3 「5 備考」欄には、請求に係る子以外に3歳に満たない子を養育する場合においてはその氏名、請求者との続柄等及び生年月日、請求に係る子が養子の場合においては養子縁組の効力が発生した日、請求に係る子以外の子について現に育児休業の承認を受けている場合においてはその旨並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認の請求に係る期間等について記入すること。
- 4 該当する□には✓印を記入すること。

第10号様式の5の2（第10条の3関係）

育児短時間勤務承認請求書									
年 月 日									
千葉県教育庁東上総教育事務所長 様									
所 属 職氏名									
私は、次により 育児短時間勤務の承認 育児短時間勤務の期間の延長 (職員コード) を請求します。									
1 請求に係る子	氏 名								
	続 柄 等								
	生年月日		年 月 日生						
2 請求の内容	☐ 育児短時間勤務の承認 ☐ 育児短時間勤務の期間の延長								
	☐ 再度の育児短時間勤務の承認 ※ 再度の育児短時間勤務が必要な事情を記入 ()								
3 請求期間	年 月 日から 年 月 日まで								
4 勤務の形態	☐ 週19時間35分勤務(月～金において週5日、1日3時間55分勤務)								
	☐ 週24時間35分勤務(月～金において週5日、1日4時間55分勤務)								
	☐ 週23時間15分勤務(月～金において週3日、1日7時間45分勤務)								
	☐ 週19時間25分勤務(月～金において週3日、うち2日は1日7時間45分勤務、うち1日は1日3時間55分勤務)								
勤務の日及び時間帯	毎日	時 分～		時 分	水	時 分～		時 分	
	月	時 分～		時 分	木	時 分～		時 分	
	火	時 分～		時 分	金	時 分～		時 分	
5 既に育児短時間勤務をした期間	年 月 日から 年 月 日まで 年 月 日から 年 月 日まで								
6 備考									

注

- この請求書（育児短時間勤務の期間の延長に係るものを除く。）には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄等及び生年月日を証明する書類(医師又は助産師が発行する出生（産）証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書等)を添付すること（写しでも可）。
- 請求に係る子の出生前に請求する場合は、「3 請求期間」欄には出産予定日以降の期間を記入し、「1 請求に係る子」欄の記入及び証明書類の添付は、出生後速やかに行うこと。
- 「勤務の日及び時間帯」欄に掲げられていない日に勤務を希望する場合等、当該欄により難しい場合には、「6 備考」欄に必要な事項を記入すること。
- 「6 備考」欄には、請求に係る子以外に小学校就学前の子を養育する場合においてはその氏名、請求者との続柄等及び生年月日、請求に係る子が養子の場合においては養子縁組の効力が発生した日、請求に係る子以外の子について現に育児短時間勤務の承認を受けている場合においてはその旨並びに当該承認に係る子の氏名及び当該承認の請求に係る期間等について記入すること。
- 該当する□にはレ印を記入すること。

第10号様式の7（第10条の3関係）

副 申 書

育児休業（育児休業延長）の承認の場合

第 号
年 月 日

千葉県教育委員会 様

九十九里町立〇〇〇学校長 氏 名

育児休業（育児休業延長）の承認について（副申）

このことについて、地方公務員の育児休業等に関する法律第2条第1項に規定する育児休業（同法第3条第1項に規定する育児休業期間の延長）の承認請求書が提出されたので、下記の事項を確認し、副申します。

記

該 当 職 員	所属				職名		
	氏名				年齢		
請 求 に 係 る 子	氏名		続柄等		生年月日	年 月 日生	
請 求 の 内 容	☐育児休業 ☐育児休業の期間の延長 ☐再度の育児休業 ☐再度の育児休業期間の延長						
請 求 期 間	年 月 日から 年 月 日まで						
請 求 の 理 由	(再度の育児休業又は再度の育児休業期間の延長の場合に記載)						
既 承 認 期 間	年 月 日から 年 月 日まで						

注 該当する□にはレ印を記入すること。

＊添付書類

- ・ 出産証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書等の写しを添付すること。
- ・ 育児休業の期間の延長、再度の育児休業及び再度の育児休業期間の延長の場合は、辞令の写しも添付すること。

第 号
年 月 日

千葉県教育庁東上総教育事務所長 様

九十九里町立〇〇〇学校長 氏 名

育児短時間勤務の承認について(副申)

このことについて、別添のとおり育児短時間勤務承認請求書が提出されましたので副申します。

第10号様式の8（第10条の3関係）

（表面） 部分休業承認請求書 年 月 日 九十九里町教育委員会 様 所 属 職氏名 （職員コード ） 私は、次により部分休業の承認を請求します。					
1 請求に係る子	氏 名				
	続 柄 等				
	生年月日	年 月 日生			
2 請求期間及び 時間	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	午前 時 分～ 午後 時 分～	時 分 時 分	
	年 月 日から 年 月 日まで	☐ 毎日 ☐ その他 ()	午前 時 分～ 午後 時 分～	時 分 時 分	
3 備考					

注

- 1 この請求書には、請求に係る子の氏名、請求者との続柄等及び生年月日を証明する書類（医師又は助産師が発行する出生（産）証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書等）を添付すること（写しでも可）。
- 2 請求に係る子について、職員以外の当該子の親が部分休業等の制度の適用を受けている場合には、その内容を「3 備考」欄に記入すること。
- 3 部分休業の承認が、職員からの請求に基づき取り消された場合は、その旨を裏面に記入すること。
- 4 該当する□にはレ印を記入すること。

(裏面)

所属・職・氏名

職員コード

[illegible]

大学院修学休業許可申請書

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属
職氏名

下記のとおり大学院修学休業の許可を申請します。

記

現在所持している免許状の種類			
取得しようとする専修免許状の種類			
在学を希望する大学院及び専攻コース名		試 験 日	合格発表日
休業予定期間	年 月 日から 年間		
過去に大学院休業を取得した期間の有無		有 ・ 無	
有 の 場 合	年 月 日から 年 月 日まで		
備 考			

第10号様式の10（第10条の4関係）

第 号
年 月 日

千葉県教育委員会 様

九十九里町立〇〇〇学校長 氏 名

大学院修学休業の申請について(副申)

このことについて、下記の職員より別紙のとおり大学院修学休業許可申請書が提出されました。

つきましては、専修免許状の取得に係る基礎資格、学修の意欲等を確認したところ、大学院修学休業の許可の要件を満たしていると認められますので副申します。

記

申 請 者	所 属		職 名	
	氏 名		年 齢	
現 在 校 年 数			教科等	
基礎免許状による教員としての実務経験年数				
校長の所見				

第10号様式の11（第10条の5関係）

修学部分休業承認申請書										年 月 日	
九十九里町教育委員会 様											
所 属 職 氏 名 (職員コード)											
次により修学部分休業の承認を申請します。											
1 教育施設名						2 通学時間 (職場～教育施設)		時間 分			
3 修学内容等											
4 申請期間		年 月 日から				年 月 日まで					
5 休業時間		年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
		毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
		月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
		火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
		年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
		毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
		月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
		火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
		年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
		毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
		月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
		火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
		年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
		毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
		月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
		火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
6 備考											

注

- 1 この申請書には、申請に係る教育施設の入学を証明する書類(合格通知の写し、教育施設が発行する入学証明書等)を添付し、後日、在学証明書及び教育課程予定表を提出すること。
- 2 「3 修学内容等」欄は、修学内容及び修学によりどのような公務に関する能力の向上を考えているかを記入すること。
- 3 「5 休業時間」欄は、申請期間の全期間又は確定している期間について記入すること。
- 4 年間を通じて申請する場合において、夏休み等の休校期間等修学部分休業を取得する必要がない期間がある場合は、その旨及び期間を「6 備考」に記入すること。
- 5 休業時間の合計を記入する場合は、1週間当たりの通常の勤務時間に2分の1を乗じて得た時間を超えない範囲内で、5分を単位として記入すること。

第10号様式の12（第10条の5関係）

修学部分休業変更承認申請書										
九十九里町教育委員会 様										
年 月 日										
所 属 職 氏 名 (職員コード)										
次により修学部分休業の承認時間の変更を申請します。										
教 育 施 設 名										
変 更 後 の 休 業 時 間	年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
	毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
	月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
	火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
	年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
	毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
	月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
	火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
	年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
	毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
	月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
	火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
	年 月 日から 年 月 日まで(合計 時間 分)									
	毎日	時 分から 時 分まで		水	時 分から 時 分まで					
	月	時 分から 時 分まで		木	時 分から 時 分まで					
	火	時 分から 時 分まで		金	時 分から 時 分まで					
	変 更 理 由									
	備 考									

注 休業時間の合計を記入する場合は、1週間当たりの通常の勤務時間に2分の1を乗じて得た時間を超えない範囲内で、5分を単位として記入すること。

第10号様式の13（第10条の5関係）

修 学 状 況 変 更 届

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属

職氏名

（職員コード ）

修学部分休業に係る修学状況の変更について
このことについて、下記のとおり変更が生じたので届け出ます。

記

1 事由（該当する□にレ印を記入すること。）

- ☐ 入学を許可されなかった
- ☐ 退学した
- ☐ 休学した
- ☐ 長期又は頻繁に欠席することとなった

2 事由が生じた年月日、期間、理由等

第10号様式の14（第10条の5関係）

第 号
年 月 日

九十九里町教育委員会 様

九十九里町立〇〇〇学校長 氏 名

修学部分休業の承認申請について(副申)

このことについて、別添のとおり申請があり、内容を確認したところ下記のとおり適当と認められますので、承認くださるようお願いします。

記

第10号様式の15（第10条の6関係）

高 齢 者 部 分 休 業 承 認 申 請 書				
九十九里町教育委員会			年 月 日	
			所 属 職 氏 名 (職員コード)	
次により高齢者部分休業の承認を申請します。				
1 申請期間	年 月 日から 年 月 日(当該職員の定年退職日)まで			
2 休業時間	毎日	時 分から 時 分まで	水	時 分から 時 分まで
	月	時 分から 時 分まで	木	時 分から 時 分まで
	火	時 分から 時 分まで	金	時 分から 時 分まで
	休業時間の合計 時間 分			
3 申請理由				

注 休業時間の合計を記入する場合は、1週間当たりの通常の勤務時間に2分の1を乗じて得た時間を超えない範囲で、5分を単位として記入すること。

第10号様式の16（第10条の6関係）

高 齢 者 部 分 休 業 時 間 延 長 承 認 申 請 書				
九十九里町教育委員会 様			年 月 日	
			所 属 職 氏 名 (職員コード)	
次により高齢者部分休業の承認時間の延長を申請します。				
休 業 時 間	毎 日	時 分から 時 分まで	水	時 分から 時 分まで
	月	時 分から 時 分まで	木	時 分から 時 分まで
	火	時 分から 時 分まで	金	時 分から 時 分まで
	休業時間の合計 時間 分			
備 考				

注 休業時間の合計を記入する場合は、1週間当たりの通常の勤務時間に2分の1を乗じて得た時間を超えない範囲で、5分を単位として記入すること。

第10号様式の17（第10条の6関係）

第 号
年 月 日

九十九里町教育委員会 様

九十九里町立〇〇〇学校長 氏 名

高齢者部分休業の承認申請について(副申)

このことについて、別添のとおり申請があり、内容を確認したところ下記のとおり適当と認められますので、承認くださるようお願いします。

記

第10号様式の18（第10条の7関係）

自己啓発等休業承認申請書				
年 月 日				
様		所 属 職氏名 (職員コード)		
私は、下記により		自己啓発等休業の承認 自己啓発等休業の期間の延長 を申請します。		
1 請求の区分	☐ 自己啓発等休業(2及び3に記入) ☐ 期間の延長(2及び4に記入)			
2 自己啓発等休業の内容	大学等課程の履修	教育施設の名称 (所在地)		
		課程(修業年限)	()	
		履修期間	年 月 日から 年 月 日まで	
	国際貢献活動	活動組織		
		活動国・地域		活動分野
		活動期間	国内訓練	年 月 日から 年 月 日まで
活動国滞在	年 月 日から 年 月 日まで			
3 請求期間	年 月 日から 年 月 日まで			
4 延長の期間	年 月 日から 年 月 日まで			
既に自己啓発等休業をしている期間	年 月 日から 年 月 日まで			
5 備考				

注

- 1 この申請書には、次の内容が確認できる書類及び確認書を添付すること。
 - (1) 大学等課程の履修又は国際貢献活動の内容及び期間
 - (2) (1)の内容に関する照会先
- 2 「履修期間」欄には、大学等の課程に在学して履修しようとする期間を記入すること。
- 3 「活動組織」欄には、「青年海外協力隊」、「シニア海外ボランティア」、「国連ボランティア」等を記入すること。
- 4 「国内訓練」欄には、例えば、独立行政法人国際協力機構が行う派遣前訓練等の準備行為に参加する期間を記入すること。
- 5 「5 備考」欄には、以前に自己啓発等休業をしている場合における当該自己啓発等休業の内容(大学等課程の履修又は国際貢献活動の別、休業期間)、自己啓発等休業の期間を延長する場合における当該自己啓発等休業の期間の延長を請求する理由その他承認の可否を判断するに当たって必要と思われる事項等を記入すること。
- 6 該当する□にはレ印を記入すること。

第10号様式の19（第10条の7関係）

第 号
年 月 日

千葉県教育委員会 様

九十九里町教育委員会 教育長 氏 名

自己啓発等休業の承認申請に関する意見書

下記の職員の申請に係る標記のことについて、意見書を提出します。

記

申請者	所属		職名	
	氏名		年齢	
教育委員会の意見				

第10号様式の20（第10条の7関係）

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属
職氏名

自己啓発等休業に係る 履修 状況の変更について
活動

このことについて、下記のとおり変更が生じたので届け出ます。

記

1 事由

- ☐ 大学等課程の履修又は国際貢献活動を取りやめた
- ☐ 在学している課程を休学している
- ☐ 在学している課程を停学にされている
- ☐ 在学している課程の授業を欠席している
- ☐ 参加している外国における奉仕活動の全部を行っていない
- ☐ 参加している外国における奉仕活動の一部を行っていない
- ☐ 大学等課程の履修又は国際貢献活動に支障が生じている
- ☐ その他

()

2 事由が生じた年月日、期間、理由等

注 該当する□にレ印を記入すること。

第10号様式の21（第10条の7関係）

第 号
年 月 日

千葉県教育委員会 様

九十九里町立〇〇〇学校長 氏 名

自己啓発等休業の承認申請について（副申）

このことについて、別添のとおり申請があり、内容を確認したところ下記のとおり適当と認められますので、承認くださるようお願いします。

記

第10号様式の22（第10条の7関係）

第 号
年 月 日

千葉県教育委員会 様

九十九里町立〇〇〇学校長 氏 名

自己啓発等休業に係る履修・活動状況の変更について（副申）

このことについて、別添のとおり履修・活動状況変更届が提出されたので副申します。

配偶者同行休業承認申請書		年	月	日
千葉県教育委員会 様		所 属 職氏名 (職員コード)		
私は、次により 配 偶 者 同 行 休 業 の 承 認 配偶者同行休業の期間の延長		を申請します。		
1	申請の区分	☐ 配偶者同行休業（２から４までに記入） ☐ 配偶者同行休業期間の延長（２、３及び５に記入） ☐ 配偶者同行休業期間の再度の延長（２、３及び５に記入）		
2 配偶者	氏 名			
	国内の所属先の名称 (所在地)	()		
	外 国 滞 在 事 由			
	外国滞在中の所属先の 名称 (所在地) 外国滞在事由の継続 することが見込まれる期間	() 年 月 日から 年 月 日まで		
3	職員及び配偶者の外国滞 在中の住所又は居所			
4	申 請 期 間	年 月 日から 年 月 日まで		
5	延 長 の 期 間	年 月 日まで		
	既に配偶者同行休業をし ている期間	年 月 日から 年 月 日まで [うち、期間の再度の延長の場合における 当初の配偶者同行休業の期間 年 月 日まで]		
6	備 考			

- 1 この申請書には、配偶者の外国滞在事由が確認できる書類を添付すること。
- 2 期間の再度の延長を申請する場合には、「2 配偶者」欄の「外国滞在事由」欄の最上欄の括弧内に、当該延長が必要な事情を記入すること。
- 3 「3 職員及び配偶者の外国滞在中の住所又は居所」欄には、申請時に未定の場合は「未定」と記入し、申請期間の初日の前日までに外国滞在中の住所又は居所を定めて、その旨を届け出ること。
- 4 「6 備考」欄には、以前に配偶者同行休業をしている場合における当該配偶者同行休業の内容（配偶者の外国滞在事由及び休業期間）、配偶者同行休業の期間を初めて延長する場合における当該配偶者同行休業の期間の延長を申請する理由その他承認の可否を判断するに当たって必要と思われる事項を記入すること。
- 5 該当する□にはレ印を記入すること。

第10号様式の24（第10条の8関係）

確 認 書

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属
職氏名
(職員コード)

私は、配偶者同行休業の承認を申請するに当たり、職員の継続的な勤務を促進するという配偶者同行休業の制度の趣旨を理解し、職務復帰後も5年以上継続して勤務します。

第10号様式の25（第10条の8関係）

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属
職氏名

配偶者同行休業に係る状況の変更について

このことについて、下記のとおり変更が生じたので届け出ます。

記

1 事由

- ☐ 配偶者が死亡した
- ☐ 配偶者と婚姻関係（又は同様の関係）を解消した
- ☐ 配偶者と生活を共にしなくなった
- ☐ 配偶者が外国に滞在しないこととなった
- ☐ 配偶者の外国滞在事由に変更があった
- ☐ 配偶者の職業（所属先）に変更があった
- ☐ 配偶者外国滞在事由が継続することが見込まれる期間に変更があった
- ☐ 職員及び配偶者の外国における住所又は居所に変更があった
- ☐ その他（具体的な事情、変更内容等）

2 事由が生じた年月日、期間、理由等

注 該当する□にレ印を記入すること。

第10号様式の26（第10条の8関係）

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属
職氏名

配偶者同行休業の期間の満了について

承認を受けた配偶者同行休業について、下記のとおり期間が満了しますので届け出ます。

記

期間満了年月日 年 月 日

第11号様式（第13条関係）

勤 務 復 帰 願

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属

職氏名

下記のとおり療養のための休暇を受けていましたが、別紙診断書のとおり回復しましたので、勤務復帰を承認くださるよう資料を添えてお願いします。

記

1 理 由

2 期 間

第 12 号様式（第 13 条関係）

復 職 願

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属
職氏名

下記のとおり休職していますが、休職の理由が消滅しましたので、復職を承認くださ
るようお願いします。

記

- 1 理 由
- 2 期 間

第13号様式（第14条関係）

事 務 引 継 書

年 月 日

（後任者職氏名） 様

前任者
職氏名

下記のとおり事務を引き継ぎます。

記

- 1 事務の概要
- 2 懸案事項
- 3 危機管理に関する事項
- 4 簿冊名
- 5 その他必要な事項

第 14 号様式（第 16 条関係）

兼 職 （ 兼 業 ） 許 可 願

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属

職氏名

下記のとおり兼職（兼業）したいので、許可くださるようお願いします。

記

1 兼職（兼業）の内容

(1) 勤務先の名称及び所在地

(2) 職名

(3) 勤務する曜日及び時間帯

曜日 時から 時まで
(週に従事する時間数)

2 給与の額

1 時間 円 (月額 円)

3 兼職（兼業）予定期間

年 月 日から 年 月 日まで

第 14 号様式の 2（第 16 条の 2 関係）

兼 職 承 認 請 求 書

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属
職氏名

私は、下記により、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律第10条第1項の規定による消防団員との兼職の承認を請求します。

記

1 兼職先

- (1) 消防団名
- (2) 階級名

2 兼職先予定機関（ 新規 ・ 継続 ）

年 月 日から 年 月 日まで

第 15 号様式（第 17 条関係）

年 月 日

九十九里町立〇〇〇学校長 様

受 験 届

所 属
職氏名

下記のとおり試験(選考)を受けたいのでお届けします。

記

- 1 試験(選考)機関名
- 2 試験(選考)期日
- 3 試験(選考)の場所
- 4 合格後の資格

第 16 号様式（第 18 条関係）

職務専念義務免除承認申請書

年 月 日

九十九里町立〇〇〇学校長 様

所 属

職氏名

下記のとおり職務に専念する義務の免除を受けたいので申請します。

記

1 期間又は期日

2 事 由

第16号様式の2（第18条関係）

職務専念義務免除承認申請書

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属
職氏名

下記のとおり職務に専念する義務の免除を受けたいので申請します。

記

- 1 期間又は期日
- 2 事由

第17号様式（第19条関係）

履 歴 事 項 異 動 届

年 月 日

九十九里町教育委員会 様

所 属
所属コード
職 氏 名
職員コード

下記のとおり履歴事項を変更したいのでお届けします。

記

- 1 旧履歴事項
- 2 新履歴事項
- 3 変 更 事 由
- 4 変更年月日

第 18 号様式（第 20 条関係）

退 職 願

年 月 日

千葉県教育委員会 様

所 属
職氏名

私は、 のため 年 月 日付けをもって退職したいので、承認くださるようお願いします。